

事業内容説明写真

(ア) 有機大麦・小麦の栽培、製品作成指導



【写真1】種蒔き直後の農地の様子。(2012年12月)



【写真2】左の写真と同じ農地で、集中豪雨による洪水被害の状況を確認する日本人スタッフ。一部の農地では、土壌浸食等、深刻な被害が発生した。(2013年1月)



【写真3】現地農業技師(右)による大麦・小麦の訪問栽培指導の様子。1件ずつ農地を訪問し、裨益者一人一人に対して指導を行う。(2013年2月)



【写真4】小麦の農地に有機肥料を散布する裨益者。降雨量や成育状況を踏まえ、有機肥料による追肥を行った。(2013年2月)



【写真5】日本人有機農業専門家(左から2人目)による農地の視察の様子。裨益者及び事業関係者が、農地運営における改善点等について助言を受けた。(2013年4月)



【写真6】日本人有機認証専門家(左から2人目)によるワークショップの様子。JASの有機認証制度を参考に、有機認証の申請に際して必要となる基本的な知識を学んだ。(2013年4月)



【写真7】小麦の収穫の様子。収穫機で刈り取った小麦を脱穀機にかけるNICCO現地スタッフ(左)と裨益者(右)。(2013年6月)



【写真8】収穫された小麦。悪天候等により、全体の収穫量は想定を下回ったが、穀粒のサイズはしっかりしており、対応策として実施した灌漑や追肥については一定の効果が見られた。(2013年6月)

(イ) 家庭有機農業（PC農法）の導入



【写真9】裨益者選定のため、参加希望者の家庭を訪問するNICCO現地スタッフ(左)。1件ずつ家庭を訪問して、家庭環境や参加意欲の確認を行った。(2013年3-4月)



【写真10】協力団体が運営する有機農場を視察するNICCO現地スタッフ(右)。有機農法の実践経験を有する団体や個人と、積極的に意見交換を行い、菜園運営の参考にしている。(2013年5月)



【写真11】灌漑設備の設置の様子。現地農業技師の監督の下、各菜園の周辺環境に合わせてデザインする。(2013年5月)



【写真12】裨益者との全体ミーティングの様子。事業の趣旨について再確認した他、各裨益者が抱える問題や疑問点、確認事項等を広く関係者間で共有した。(2013年6月)



【写真 13】苗木の配布の様子。現地農業技師(左)が各菜園を1件ずつ訪問し、作付けの手順や適切な灌漑方法についてきめ細かな指導を行う。(2013年6月)



【写真 14】設置が完了した家庭菜園。(2013年6月)

(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導



【写真 15】製粉施設を視察する NICCO 現地スタッフ。小麦の製粉プロセスや製粉加工品のオプションについて情報収集を行った。(2013年5月)



【写真 16】パレスチナ経済省の主催によるワークショップの様子。女性グループの収入創出活動における公式な手続きや、政府による支援体制等について情報を収集した。(2013年6月)



【写真 17】フェアトレードに関するワークショップの様子。加工品の販売や認証プロセス等、フェアトレードに関する基礎知識を学んだ。(2013年6月)



【写真 18】食品加工の講師による、小麦を使用した試作品作成の様子。(2013年6月)